

水害リスク解析サービス

HITACHI

近年、台風や集中豪雨による水害が、毎年のように発生しています。令和に入り、東日本の広範囲に被害をもたらした令和元年東日本台風や、熊本県を中心に大きな被害をもたらした令和2年7月豪雨などが立て続けに起きました。

激化する水害に対して、浸水防止計画の作成や自衛水防組織の設置が求められています。本サービスは、各事業所の水害リスクを調査し、BCP*策定支援を行うサービスです。

*BCP（Business Continuity Plan 事業継続計画）

特長

1. 対象の全拠点を調査します
公的資料とシミュレーションに基づいて、水害リスクが高い拠点を抽出します。
2. 重要かつハイリスクな拠点を詳細に調査します
最新の地形や河川形状、対象敷地配置図、弊社コンサルタントによる現地調査などに基づき、弊社のリアルタイム洪水シミュレータ「DioVISTA/Flood」を用いて、建屋ごとの浸水深や流れの方向・速さ、浸水開始から水が引くまでの時間を算出します。
3. 水害予想を定量的かつ視覚的に表現します
各時刻の浸水エリアを地図と重ねて表示することで、堤防決壊から拠点の浸水までの過程を把握できます。



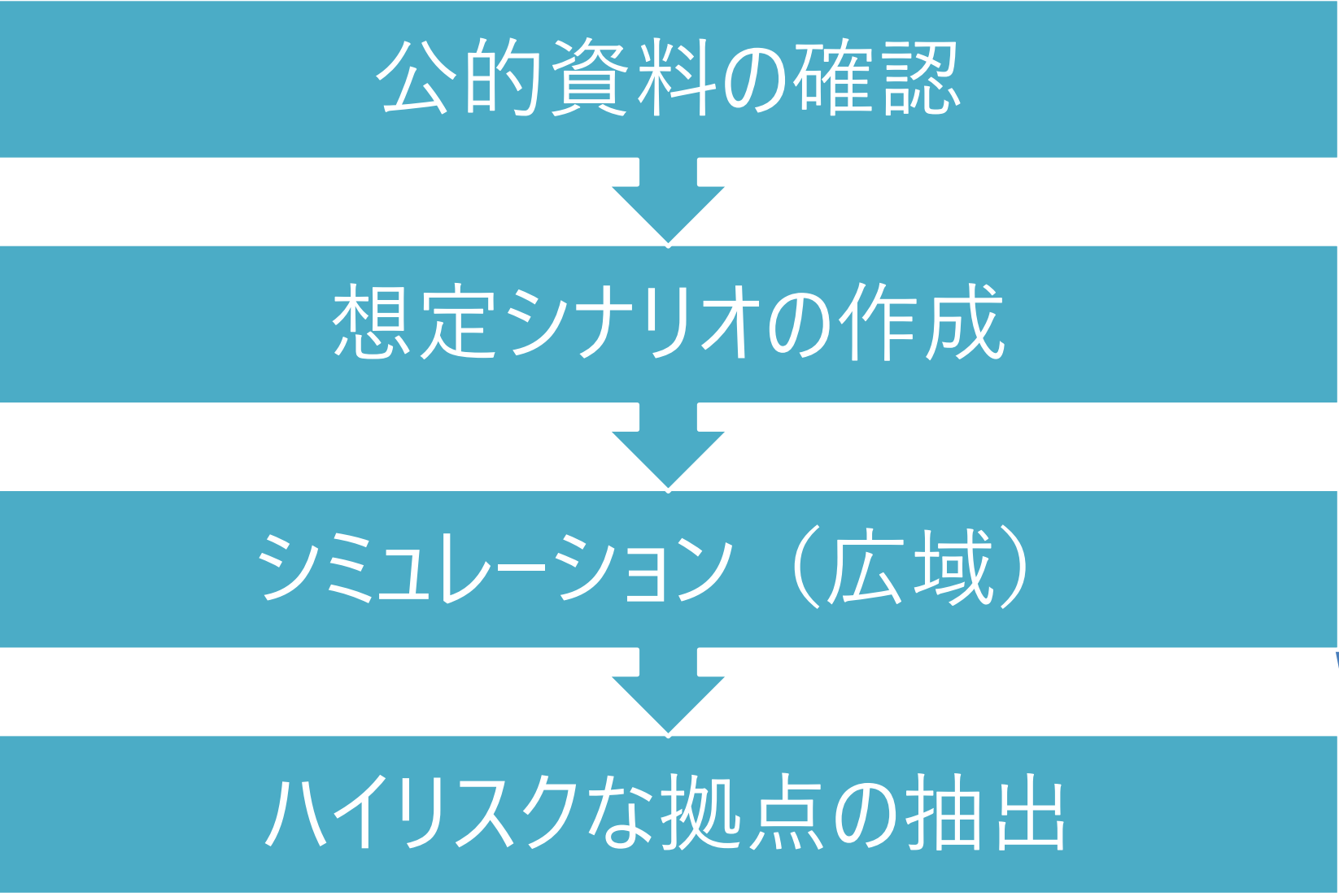
効果

- 被害軽減策やBCPをシミュレーションに基づき策定できます。
- ・異常事態のトリガーの設定（近隣河川の水位、降雨など）
 - ・拠点内の社員、お客さまの避難計画
 - ・危険物（毒物、劇物、爆発物など）の漏えい防止計画
 - ・製造設備立ち下げと拠点からの退避計画
 - ・設備の移設、拠点のかさ上げ、土盛り、トレンチ、止水板などの設置計画
 - ・損害保険契約の見直し

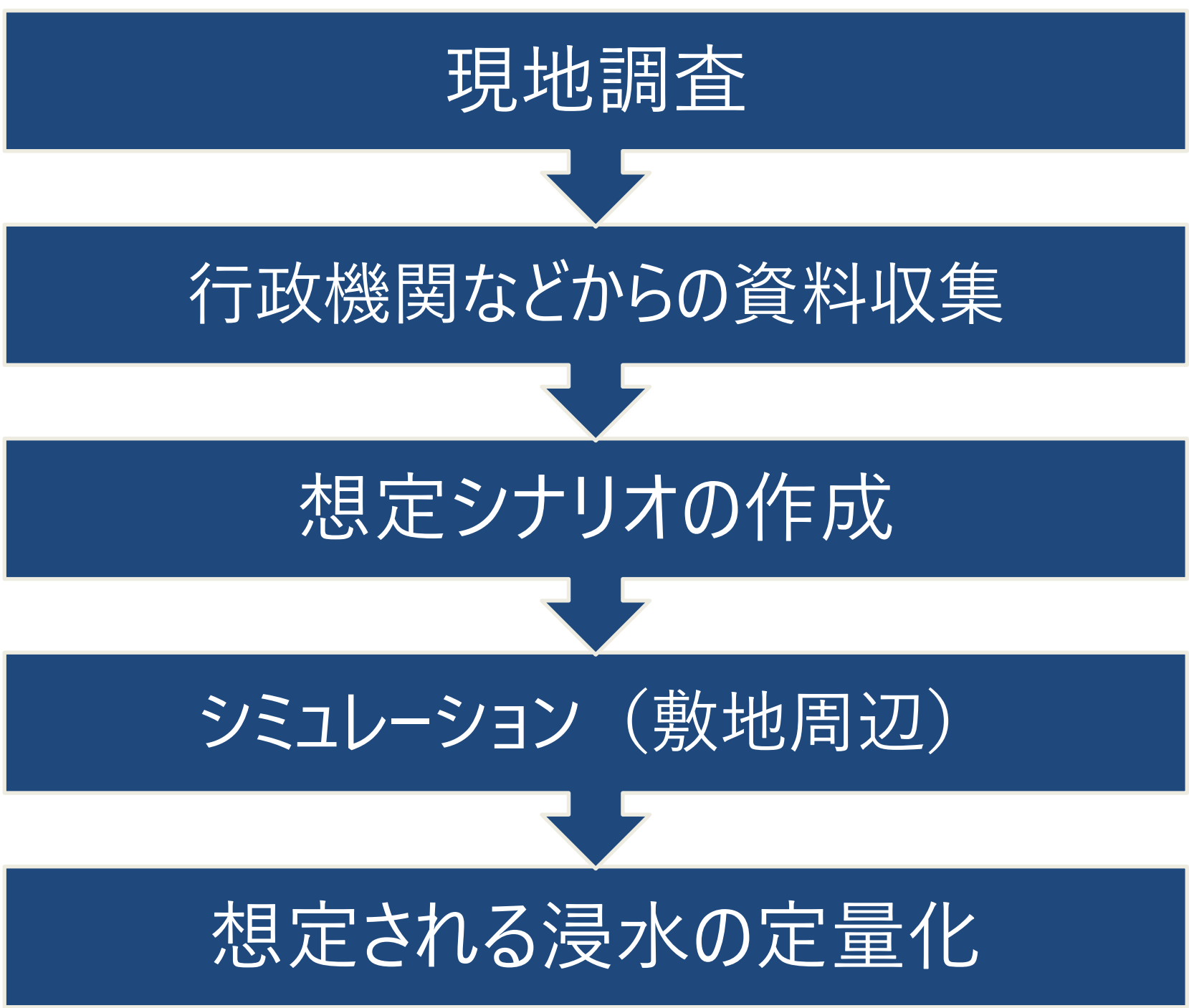
株式会社 日立パワーソリューションズ

水害リスク解析サービス フロー

簡易調査フロー



詳細調査フロー



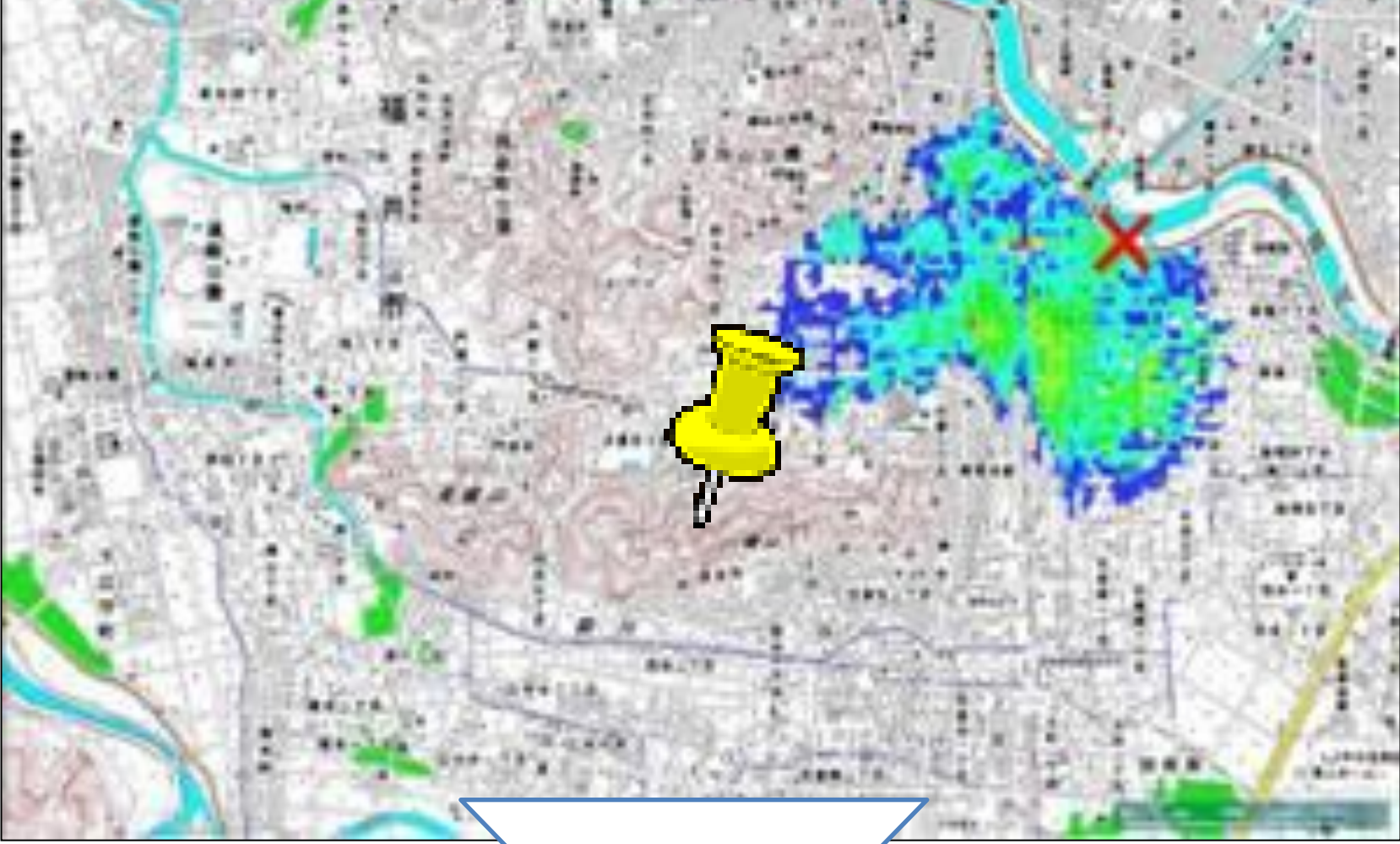
浸水定量化のイメージ

建屋	想定浸水深	想定流速
特殊実験棟	1.0 m	0.6 m/s
排水処理棟	1.2 m	0.2 m/s
受変電棟	1.2 m	0.2 m/s
社員駐車場	2.0 m	0.8 m/s

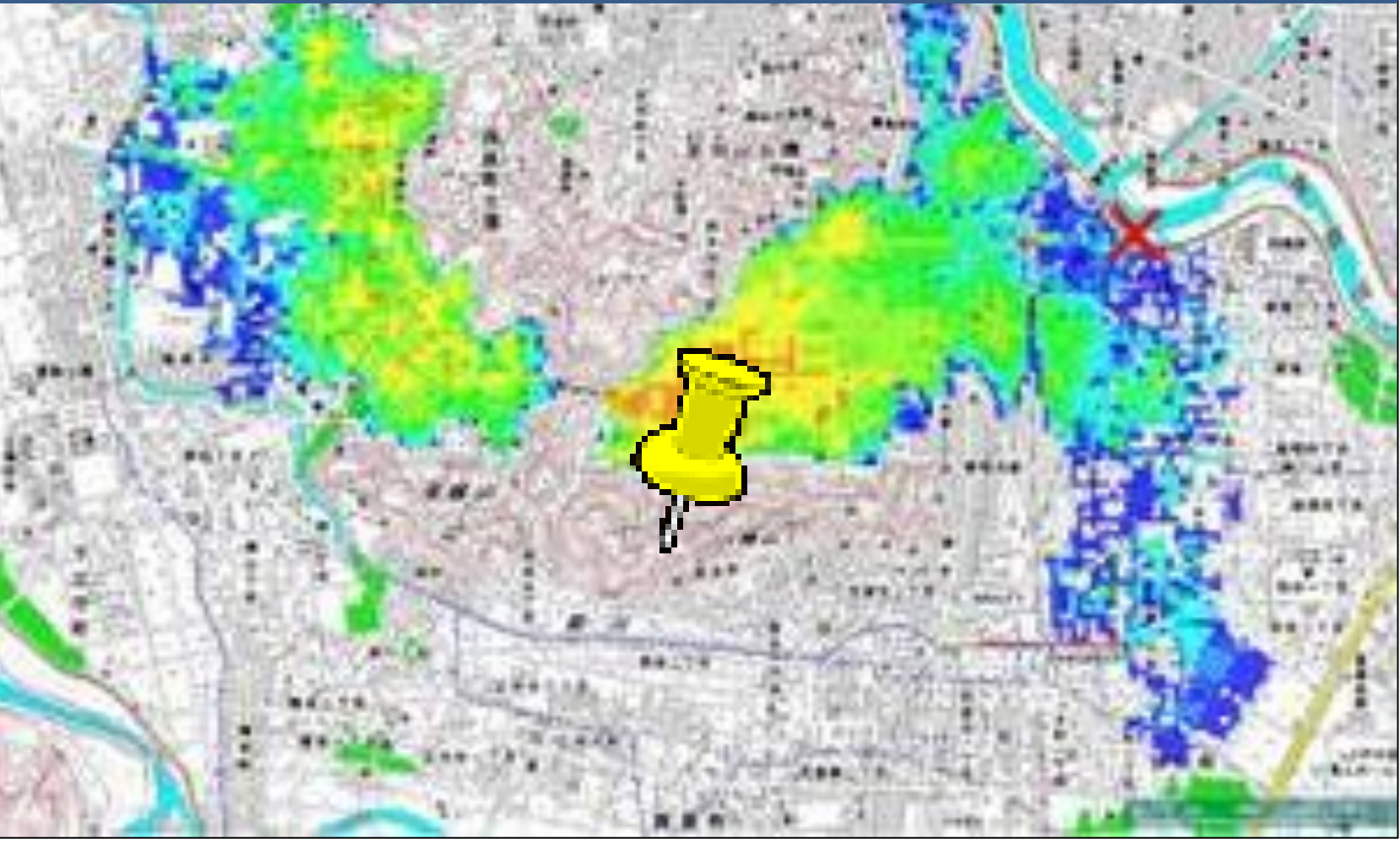
堤防決壊直後



3時間後



5時間後



- （１）簡易調査は、各種公表資料から当該地の気象特性や水害リスクを洗い出し、机上だけで評価
- （２）詳細調査は、立地・気象条件、過去の被災調査などと現地における調査結果から評価

株式会社 日立パワーソリューションズ
<https://www.hitachi-power-solutions.com>

デジタルエンジニアリング本部 システムインテグレーション部
〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-2 神田第一生命ビル3F
TEL. (03) 5297-0511

フロント営業統括部 東日本営業部
〒101-8608 東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル25F
TEL. (03) 6285-2970



▲
最寄りの営業拠点は
こちら

●お問い合わせは、以下にご連絡ください。

●製品仕様は改良のため変更することがあります。